

再 評 価 調 書

I 事業概要					
事業名	道路事業（道路改良事業）				
地区名	一般県道小口岩倉線（大口・江南工区）				
事業箇所	愛知県丹羽郡大口町小口～江南市前野町				
事業のあらまし	<p>一般県道小口岩倉線は、愛知県丹羽郡大口町小口を起点とし、江南市を経て岩倉市へ至る延長10.1kmの路線であり、尾張北部地域の重要な道路である。</p> <p>本路線は、大口町の中央部を東西に横断し、江南市街地と国道41号を結ぶ都市計画道路江南大口線の一部区間であるが、周辺に工業施設等が多数立地していることに加え、交通量が多いため、慢性的に渋滞が発生している。歩道も狭小であることから、歩行者の安全性が確保されていない。</p> <p>このため、「人の交流を支え地域を活性化する基盤整備」、「交通安全対策の強化」を主な目的として、尾張北部地域における交通の円滑化と周辺の渋滞緩和を図るとともに、両側に歩道を整備し、歩行者の安全性を確保するため、一般県道小口岩倉線の現道拡幅及びバイパス整備を実施するものである。</p>				
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>(1) 人の交流を支え地域を活性化する基盤整備</p> <p>(2) 交通安全対策の強化</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>				
計画変更の推移		事業採択時 (H20)	再評価時 (H28)	変動要因の分析	
	事業期間	平成20年度～平成30年度	平成20年度～平成30年度		
	事業費（億円）	12.5	12.5		
	経費内訳	工事費	2.7	2.7	
		用補費	9.3	9.3	
		その他	0.5	0.5	
事業内容	現道拡幅・バイパス整備 延長 L=1.2km (現道拡幅：0.7km バイパス整備：0.5km) 幅員 W=16m 2車線	現道拡幅・バイパス整備 延長 L=1.2km (現道拡幅：0.7km バイパス整備：0.5km) 幅員 W=16m 2車線			
II 評価					
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事業採択時の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現道の交通量は12,224台/日、混雑度は1.26（H17 道路交通センサス結果）となっており、渋滞対策が喫緊の課題であった。 ・ 現道は鉄道駅と周辺工業施設を結ぶ通勤路となっているが、歩道は狭隘であり、歩行者が危険にさらされている状況であった。 <p>【再評価時の状況】</p> <p>①人の交流を支え地域を活性化する基盤整備（渋滞緩和）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現道の交通量は9,000台/12h、混雑度は1.16（H22 道路交通センサス結果）となっており、依然として渋滞が発生している。 <p>②交通安全対策の強化（歩道設置）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現道は鉄道駅と工業施設を結ぶ通勤路となっているが、歩道は狭隘であり、歩行者が危険にさらされている <p>【変動要因の分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現道の混雑度は依然として高い状況にあり、渋滞対策が喫緊の課題である。 ・ 現道は鉄道駅と周辺工業施設を結ぶ通勤路となっており、歩行者の安全性の確保が必要である。 ・ 以上により、事業の必要性は依然として高い状況である。 			

判定	B	A: 事業着手時に比べ必要性が増大している。 B: 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。 C: 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。																																																																																																		
	【理由】 ・現道の渋滞状況や歩道空間について事業着手時の必要性和大きな変化はなく、事業の必要性は依然として高い状況であるため。																																																																																																			
②事業の進捗状況及び見込み	1) 進捗状況	<p>【事業計画及び実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H20~H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>用地・補償</td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">事業費(億円)</td> <td>計画</td> <td colspan="6"></td> <td colspan="2">2.3</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td colspan="8">10.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>【進捗率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗状況</th> </tr> <tr> <th>計画【①】</th> <th>実績【②】</th> <th>達成率(%)【②÷①】</th> <th>計画【③】</th> <th>達成率(%)【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>—</td> <td>0.0</td> <td>—</td> <td>1.2</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>—</td> <td>10.2</td> <td>—</td> <td>12.5</td> <td>82%</td> </tr> <tr> <td> 工事費</td> <td>—</td> <td>1.1</td> <td>—</td> <td>2.7</td> <td>41%</td> </tr> <tr> <td> 用地補償費</td> <td>—</td> <td>8.8</td> <td>—</td> <td>9.3</td> <td>95%</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>—</td> <td>0.3</td> <td>—</td> <td>0.5</td> <td>60%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※用地進捗率(面積ベース)は、約99%</p>			H20~H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	工種区分	調査・設計	←							→	用地・補償	←							→	工事		←						→	事業費(億円)	計画							2.3		実績	10.2									これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況		計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	達成率(%)【②÷③】	延長(km)	—	0.0	—	1.2	0%	事業費(億円)	—	10.2	—	12.5	82%	工事費	—	1.1	—	2.7	41%	用地補償費	—	8.8	—	9.3	95%	その他	—	0.3	—	0.5	60%
			H20~H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30																																																																																										
	工種区分	調査・設計	←							→																																																																																										
		用地・補償	←							→																																																																																										
		工事		←						→																																																																																										
	事業費(億円)	計画							2.3																																																																																											
		実績	10.2																																																																																																	
		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況																																																																																															
		計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	達成率(%)【②÷③】																																																																																														
	延長(km)	—	0.0	—	1.2	0%																																																																																														
事業費(億円)	—	10.2	—	12.5	82%																																																																																															
工事費	—	1.1	—	2.7	41%																																																																																															
用地補償費	—	8.8	—	9.3	95%																																																																																															
その他	—	0.3	—	0.5	60%																																																																																															
2) 未着手又は長期化の理由	・完了予定年度に変更なし。																																																																																																			
3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】</p> <p>・地元自治体より早期整備が要望されており、大きな阻害要因はない。</p> <p>【今後の見込み】</p> <p>・平成30年度までに整備が完了する予定である。</p>																																																																																																			
判定	A	<p>A: これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。</p> <p>B: 次のいずれか(該当する項目に「○印」を付ける)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまで事業長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 <p>C: 阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p>																																																																																																		
【理由】		・事業は順調であり、予定通り平成30年度までに整備完了が見込まれるため。																																																																																																		
III 対応方針																																																																																																				
継続	<p>中止: 上記①~③の評価で一つでもC判定があるもの。</p> <p>継続: 上記以外のもの。</p>																																																																																																			

IV 事後評価実施の有無と主な評価内容

■対象（事業完了後5年目） 対象外

【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】

—

【主な評価内容】

・交通量（全車、大型車）、旅行速度、混雑度、安全性の改善状況